

舵輪

カイルデッキの用羅し 遠征の挨拶

業務課業務技術員 塗師博

業務係長 市川 義文

雑な心境です。何がどうという説明が、うまく言葉になりません。ただ言えるのは公私に渡ってお世話になった皆様と、海王丸への心からの感謝の気持ちです。本当にありがとうございます。

業務課技術員 本間 幸夫

月日の経つのは早いもので、気がつけば、もう2年が過ぎてしまいました。今だからお話ししますが、私が富山に

来たのは結婚のために陸上勤務がたく希望を出したからです。それでも当初は無理だということであきらめていたところ、直前になって決まったらしく、運よく赴任することができました。だから

といて別に手を抜くつもりで来たわけではなく、与えられたところで常にベストを尽くすよう心掛けてはいます。しかしながら、それが果たして皆様のためにな

ったかどうかはわかりません。実際のところ、いろいろとお叱りも受け、まだまだ至らぬ点が多かったと反省ばかりが残ります。この2年間では、良い思い出もたくさんできました。風光明媚、食の楽しみ、皆様は好きな時にいつでも感じられ、十分に分かっていらつしやることですが、初めて富山に住んだ私は、それらを凝縮して堪能したと言えるほど、様々なところへ出かけました。

この素晴らしい土地に安住する海王丸は、まもなく10年目を迎えようとしています。帆を披露するためには、ポランティアの皆さんの協力なしにはできません。その皆さんがもつとやりやすいように、気付いた点は遠慮なく申し出て下さい。思っているだけでは何事も変わりません。私自身、今のままが悪いとは思いませんが、もっと良いアイデアを持っていて、実現し、もつとポランティアと海王丸が身近な存在になればと思います。

富山を離れるにあたって、今非常に複雑な心境です。何がどうという説明が、うまく言葉になりません。ただ言えるのは公私に渡ってお世話になった皆様と、海王丸への心からの感謝の気持ちです。本当にありがとうございます。

4月から大成丸に乗船します。2年間、大変お世話になりました。富山での単身生活は楽しいことばかりでした。冬はスキー、夏は各地への温泉旅行など。そして、おいしい酒、魚など思い出は尽きません。

来年は全てのセイルが新しくなります。何枚かのセイルは私共で作製したのもあります。立山連峰を背に素晴らしい展帆日になることと思います。

ポランティアの皆様のご健康と、これからの益々のご活躍をお祈り申し上げます。ありがとうございます。

業務課技術員 高橋 二男

あつという間の1年でした。いろいろ経験でき、とても良い思い出になりました。本当に富山に来て良かったと思えました。ポランティアの皆様には大変お世話になり、ありがとうございます。

4月からは北斗丸に乗船します。また何年か後にぜひ来たいと思います。皆様、お元気で！

業務課技術員 松原 真一

4月1日をもって帆船海王丸記念財団を退任し、運輸省航海訓練所、練習帆船日本丸に乗船することになりました。

富山県に赴任して2年半の間、ポランティアの方々、財団の方々には大変お世話になりました。また、私にとつても妻と息子と過ごせたこの時期は、とても貴重なものでした。仕事、私生活（子育て等）ともに、まだまだやり残したことがあるような気がしますが、ここでのたくさんの方の思い出を胸に、日本丸に戻つても頑張りたいと思います。また富山に来る機会がありましたら、よろしくお願ひします。

最後に皆様方の益々のご活躍とご健康を願っています。本当にありがとうございます。

業務課技術員 大西 修司

4月から日本丸に乗船することになり、3月で富山をあとにすることになりました。富山に来て2年、あつという間でした。海王丸勤務中は財団の方々、ポランティアの皆様には大変お世話になりました。富山では、良い思い出がたくさんできて本当に良かったです。富山に寄港した時はぜひ遊びに来て下さい。

SPICING THE MAIN-BRACE

『SPICING THE MAIN-BRACE』

みんな、祝い酒だ！

長い冬もようやく終わりを告げ、活動的な季節が始まるつとじています。啓蟄も過ぎて、皆さんの中の帆船虫も冬眠から起き出したところでしょうか。

さてさて、このコーナーもようやく第3回目を迎えることができましたが、今回はこのコーナーの題名について少しばかり肩を振ってみようかと思えます。

SPICING とは索（ロープ）を撚りつなぐことで、同じ意味する LONG-SPLICE は切れる前と同じ太さにならなければならない高度の熟練を要する作業のことです。THE MAIN-BRACE とはご存じのとおりメインマストの最下桁メインヤードの両端に付けられた転桁索のことです。本船では同じようなブレースがフォア、ミズンにもありますが、もつと昔の帆装軍艦が海上の主役であった頃の帆船は、メンスルが最大かつ主推進力となる帆でした。当然、メインブレースは最も重要なブレースとなります。このメインブレースが切断されるとこのことは、船としてはまったく致命的であり、これを迅速に撚りつなげることができるとどうにか船の命運がかかっていたわけ

です。例えば軍艦で戦闘中にメインブレースが切断されると、速力は落ち、船の制御もままならなくなり、敵の攻撃を受けてしまふことになりまふ。戦闘に勝利

するためには、いかなる状況においても迅速かつ確実な修理が必要不可欠です。こうした重大な任務は極めて老練な船員の適切な処置によってのみ可能であつて、これに成功した当の船員には、もちろん絶大な名誉が与えられました。全乗組員も危機を脱した船を祝福する意味で、艦長や船長から酒の特配を受けるのが常だったそうです。こつとした慣行から SPICING THE MAIN-BRACE とはいえは撚りつなぐことより、乗組員全員への祝い酒の特配を意味するようになったそうです。

ところで、ここで特配される酒はだいたいラム酒だったそうです。お菓子を作られる方なら小瓶を購入される方もいらつしやるようですが、飲用に購入される豪の者はあまりおられないようです。サトウキビや糖蜜を発酵させた結構きつい酒で、確か50度くらいあつたと思います。帆船時代英国の軍艦ではラム酒の配給が定期的にあつたそうですが、生のまま配給していた頃は、犯罪や規律違反が多く当局では頭を悩ませていたことから、強い酒ということがわかつています。そこで、1740年にイギリスのエドワード・パーノン海軍提督がラム酒と水を1対4で割つた水割りを作つてを飲ませ始めました。この提督のあだ名が GROG だったところから、この酒を GROG と呼び始めたといつこととです。もうすぐ「集い」がありますが、この時は全員で「SPICING THE MAIN-BRACE」といしまつしょうか。

訂正とお詫び
前号の「POINT」ってなーにの図2で、NE/E から EN/E の間の方位が NE/E/4E NE/E/2E NE/E/4E となつていましたが、それぞれ NE/E/4E NE/E/2E NE/E/3/4E の間違いでした。また「組み継ぎ」ではなく「撚り継ぎ」と訂正させていただきます。ここで訂正するとともにお詫び申し上げます。

財団のお知らせ

練習会

舵輪

4月25日(日)、いよいよ第1回の展帆が始まりますが、これに先立ち恒例の練習会を左記のとおり実施します。基本同左を確認し、安全に作業を進めるため、体慣らしの練習会には是非ご参加ください。2回実施しますが、どちらか都合の良いほうで結構です。

日時 1回目 4月4日(日)
2回目 4月11日(日)

いずれも13時～16時

場所 メインマスト付近
控室 第一及び第三研修室

ボランティアの集い

恒例のボランティアの集いを左記のとおり開催いたします。

第1回の総帆展帆に向けて、今年度もボランティアの意気を大いに盛り上げ、活気あるものになりたいと考えています。新メンバーの紹介も予定していますので、ご多忙中とは思いますが、多数のご出席をお待ちしております。

記

日時 4月17日(土)

18時30分～20時30分
場所 ホテルニューオータニ高岡
4階 鳳凰西の間

電話 0766

(26) 1111

係がら

尋ねボランティア

ボランティアNo.3372の「田中裕之」さんについては、「舵輪」等を送付しても戻ってきてしまいます。連絡先等をご存じの方は、業務課までお知らせください。

あどがき

K A I W O M A R U